

激江

経大人のための情報誌



DENKO

大阪経済大学同窓会通信

2002年 38号

巻頭特集●TOP3座談会

70周年から未来へ～見えてきた新しい経大



同窓会会長
田中富三



理事長
井阪健一



学長
渡邉 泉

OB REPORT

～夢を育み、未来を拓く起業家～



高田 明
株式会社ジャパネットたかた
代表取締役社長



佐藤武司
日本ジッコー株式会社
代表取締役社長

ZOOM UP KEIDAIJINN

ズームアップ経大人

満足度日本一のまちづくりをめざして

舞鶴市長 江守 光起



誌上面白ゼミナール

ブーメランは世界に平和をもたらすか？

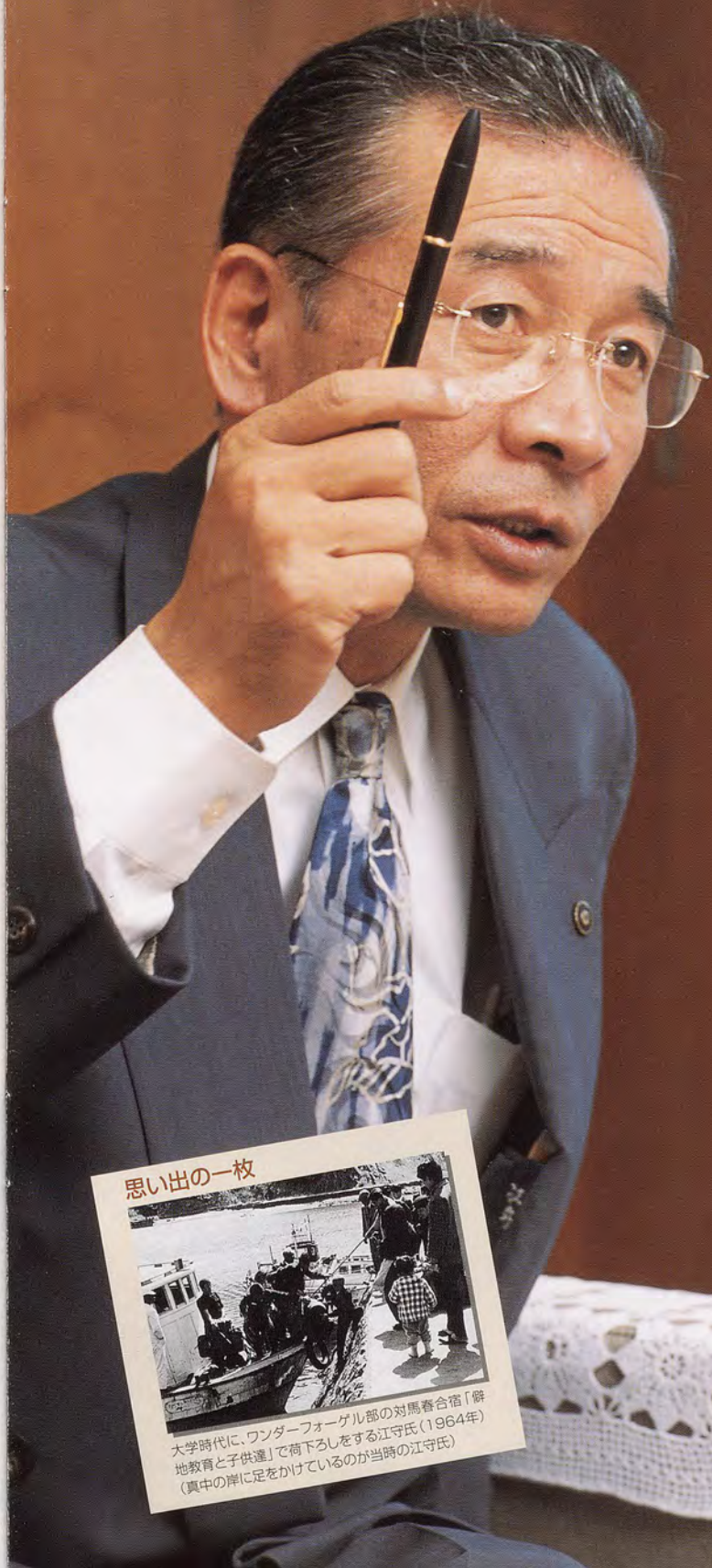


西山 豊
経営情報学部 教授

舞鶴市長

江守 光起氏(33回卒)

満足度日本一のまちづくりをめざして



思い出の一枚



大学時代に、ワンダーフォーゲル部の対馬春合宿「僻地教育と子供達」で荷下ろしをする江守氏(1964年)
(真中の岸に足をかけているのが当時の江守氏)

まちづくりに果たす大学の役割

大学時代には、府会議員だった父の秘書兼運転手を務めていました。当時は母の苦勞などを見ていましたので、将来政治の道に進むとは思っていませんでした。ゼミは園田先生の中小企業論で、マネジメント、特に中小企業の中で人間関係をどのようにつくっていくかについて、30年前に教えていただいたことが今でもとても役立っています。

父が舞鶴でガソリンスタンドを経営していたこともあって、4年生の夏休みにアルバイトでためた資金で、2カ月間アメリカとカナダを旅してまわり、向こうのガソリンスタンドを見て歩いて、日本との比較をテーマに卒論を書きました。当時、アメリカではすでにセルフ方式の給油が始まっていま

したが、今思うと現場を見てまわったことがとても貴重な体験になりました。

母校大経大に望むことは、いろいろな形で学外との連携を強化して、より身近な学問の府として地域社会に必要とされる組織体になつてほしいということです。自治体は今までのシステムでは立ち行かなくなつて、これからどうあるべきか模索している状態です。さまざまなサジェッションによって、大学にもまちづくりに参画していただきたいと願っています。

『協働』はこれからの地方自治のキーワード

私は『協働』ということばが、これからのまちづくりのキーワードになると思っています。民意、民度を高めて、そこに住んでいる人の感性をあげていかないと、良

いままちづくりはできません。すべてを行政に『おんぶにだっこ』するのではなく、市民と行政がいっしょに汗を流しながらやっていくということなんです。たとえば「市民プラザ」というホールやスタジオのある施設を市で建設するのですが、市民で組織したNPOに運営を任せるために、3年かかってワークショップ方式でマネジメントなどを学んでもらいました。

あらゆる情報を公開して、行政の限界を知ってもらうことも必要です。役所の風土を変えるための試みとして、2年前から出前講座を実施していますが、これは市民のみなさんから要請があれば、部長、課長が役所から外へ出かけて行つてお話しさせていただき、自分の専門外のことであっても市民の要望や声をすべて聞いてくれるという

ものです。

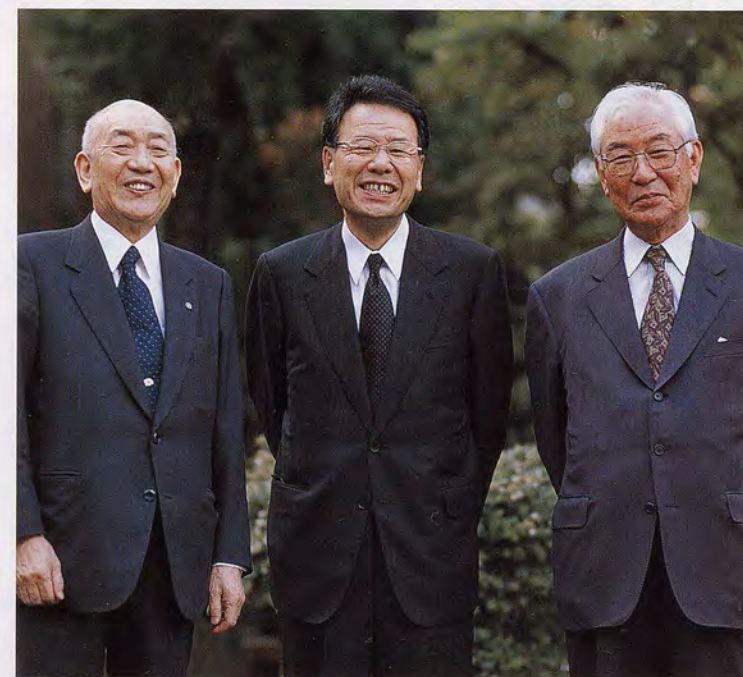
そして、役所じゃないとできない仕事以外はどんどん民間を活用していくこと。民間との競争によつて、お互い切磋琢磨することでもっと良くなっているはずなんです。私の夢は舞鶴を満足度日本一のまちにすること。自分が燃えない人も燃えないけれども、それだけに一生懸命やれば必ず夢はかなう、道元の「切に欲すれば必ず遂ぐるなり」というのが私のモットーです。そしてもう一つ、楠正成の「大切なものために死ぬるは負けと申さぬものなり」というのも好きなことばです。

今の時代、大義に生きるということがなくなつてしまつて、損か得かだけが価値判断の基準になっていますが、生まれ育つたふるさとを良くするという熱い思いを大切に、市民のみなさんと頑張りたいと思います。



- 1 ■ズームアップ経大人
舞鶴市長
江守 光起氏
- 2 ■巻頭特集
TOP3 座談会
70周年から未来へ
同窓会会長
田中富三氏
理事長
井阪健一氏
学長
渡邊 泉氏
- 8 ■OB REPORT
～夢を育み、未来を拓く起業家～
(株)ジャパネットたかた
高田 明氏
日本ジッコウ(株)
佐藤武司氏
- 12 ■社会人のための大学活用術
オープン・カレッジ
公開講座
聴講・科目等履修制度
- 16 ■Get Together
経大ファミリー
- 18 ■支部だより
全国支部からのお知らせ
- 26 ■OB ネットワーク
同期生OB会・
クラブOB会・
ゼミOB会から
- 33 ■誌上面白ゼミナール
経営情報学部教授
西山 豊氏
- 36 ■KEIDAIグラフィティ
70年の思い出
モノ語り
- 39 ■本部だより
- 40 ■事務局だより

70周年から未来へ ～見えてきた新しい経大



理事長 井阪健一 学長 渡邊 泉 同窓会会長 田中富三

さる9月30日、創立70周年という
輝かしい歴史の節目を通過し、
今、大阪経済大学は
21世紀に生き残りを賭けた
新しい大学づくりに、
新たな第一歩を踏み出そうとしている。



TOP
CONVERSATION

司会 創立以来の「人間的実学」をコンセプトに、企業に、地域社会に、そして国際社会に開かれた大学づくりを目指して「人間科学部」を新設、経済学部「地域政策学科」を増設したほか、今秋には国際交流会館が竣工、さらに来春NB館の完成と合わせて大学院に経営情報研究科の開設を予定するなど、経大の充実振りは目を見張るものがあります。ただ、迫りくる少子化の波は予想以上に厳しく「経大はこれにどう対処しようとしているのか」が、同窓生にとって最大の関心事であります。そこで二期目を迎えられた井阪理事長と、昨年11月に就任された渡邊学長、今年6月新たに就任された田中同窓会会長に加わっていただき「これから経大の目指すものは何か」を話し合っていました。



NB館（仮称・2003年3月竣工予定）5階に新しい大学院施設を整備します。さまざまな学びの要望に応えています。

という感じですね。私個人としても理事長就任以来3年を経過しましたが、これから本番だと思っています。そこで新たな3カ年計画を作成中で、理事会の承認を得て来春から実施するものもあるでしょう。

渡邊 理事長が常におっしゃられるように改革はスピードが第一です。その助走期間として70周年を終えた時点からスタートを切っているものもあります。そこで我々がどっちの方向に歩むのか、その目標を全学的に明らかにし、つまり我々教職員のインセンティブを明らかにすることによって、それを学生にアピールする。もう動きつつあるんです。

**実学の拠点づくりへ
都心への進出を**

司会 さて、その具体的な中身は。

井阪 まず教育環境を良くするということですね。これは私のやるべき本流だと考えております。教育の中身は学長以下教授陣にお任せするとして、私は各学部のカリキュラムを明確にし、在学中の4年間で何の資格が取れるのか、といったことをはっきりと打ち出していきたいと思っています。それを実践するため学部長理事制を採用し、学校運営にも加わっていただくことを考えています。一方、ハードの面、つまり建物というならばNB館が来春完成します。そうすればC館を取り壊して建て替えます。これで建物の整備は一応完了するんですね。次なる展開は、大学院を中心に、やはり都心に出

て行くこと、つまり梅田とか、北浜あたりにサテライト教室といいますか、ビジネススクールを開講し、社会人参加の大学を考えています。そうなるとやはり働く人々の近いところへ勉学の場を持つて行くべきでしょう。

司会 それも3カ年計画の中で実現させようというのですか。

井阪 それも入れていこうと思っています。

司会 理事長のいわれる人間的実学をそこで実践しようというものです。

**人間的実学をコンセプトに
生きた人材の創出を**

八十周年に向けて
三カ年計画をスタート
司会 理事長就任以来、「開かれた大学づくり」に精力的に取り組んでこられました。次なる手は。
井阪 さる9月30日創立70周年を皆さんと共に喜び合いましたが、今はあの日を新たな出発点として80周年に向けてスタートを切った

理事長 井阪健一





カリキュラムを明確にし 社会に貢献できる人材育成に

学長 渡邊 泉

井阪 実学の拠点というものでしょう。つまり経済界の中心に入っているというものです。
司会 そうなると学部の新設といったことも考えるんですか。いまさら総合大学化という話もないでしょうが。

大学の原点を忘れず 民の力を結集し生きた実学を

渡邊 質問の答えになるかどうか解りませんが、経大が偏差値において社会的評価を低下させ、低迷の時期が一時期ありました。卒業生の皆様に大変申し訳なく思っているのですが、その原因が何処にあるのかを考えました時に、経大が単科大学であったという所にその原因の一端があったという事

実は否定できません。日本経済が右肩上がりであり、大学にもその影響がおよび、総合大学花盛りとなったわけですね。本学としてもそうした中で経済系だけでいいのかとか、新しい学部の創設も模索しなくては考えた時もありました。しかし、ただ大きければいいという時代はかならず変わると確信し、社会科学系の専門大学として、大阪の地を足場に民の力を結集し、生きた実学をコンセプトに教育環境を充実させてきました。いうまでもなく社会科学の対象は、社会であり、社会を構成している人間です。人間を忘れた社会科学は意味がありません。「人間科学部」の誕生もそうした中から生まれたものです。ただ、どんな時にも経大の立脚基盤を忘れてはならないと思

います。経大はやはり浪華高商、昭和商高を母体にして、なにわの地で民学という民の力を中心にした実学をベースにやってきた大学であります。そこを忘れてしまつては経大としての存在価値が問われてくるのではないのでしょうか。仮に新しい学部を作るにしても、それは単に総合大学を目指してやるというのではなく、原点を忘れることなく、歴史ある本学の実学をベースに考えるべきだと思っています。

3度目の変革期に直面し より積極的な支援を

司会 田中会長、いまお2人から経大の歩むべき方向性を語っていただきましたが、同窓会としてこれにどう対応していけるのでしょうか。



田中 この6月から同窓会の会長をお引き受けしましたが、まず会運営をフェアで、よりオープンなものにするため、情報伝達機能をこれまでの「激江」だけであったのを、新聞「同窓会だより」の発行と、同窓会独自のホームページを作成し、ネット上での情報交換を可能にしました。もうひとつ大切なことは母校発展のためにどういうお手伝いができるかでありましたが、それを考える前に少し話しておきたいことがあるんです。さきほど話にありましたように本学は今年70周年を迎えることができました。この間2回大きな変革期といえますが、節目がありました。ひとつは昭和10年浪華高商から昭和商高への再興の時であり、また、積立金問題に端を発した学園紛争であります。文部省がこれを

憂い、当時の大阪商大の河田嗣郎学長や菅野和太郎教授らによって、当時京都大学の教授であった黒正厳先生を擁して再起を図り、生まれたのが昭和商大でした。2つ目は戦後マッカーサー司令部による学制改革でした。この時の危機感、私は経験しましたが、大阪経済専門学校から大学に昇格できなかったら、この学校はどうなるんだろうという緊迫した空気におおわれていました。この時も岡山大学の学長に内定しておられた黒正先生の出馬によって、この危機を乗り切ってきたのですが、70周年を終えた今、私は第3の変革期に直面していると思っています。幸いにして経大はいま変貌しつつあります。日本の各大学がいまどう生き残るか、どう勝ち組に入るか真剣に考えています。同窓会として

実践起業論
グローバル化やITの進展に伴い、新しい企業・雇用の創出へと向かう激動の時代に対応するため、「起業」ノウハウを理論と実践の両面から学んでいきます。



も学校当局と密接な連携をとりながら、どんなお手伝いができるかを模索していきたいと思っています。それから申し添えておきますが、第1の危機は文部省、第2のそれはマッカーサー司令部とそれぞれ外圧によってもたらされたものの。ところが第3の危機は内から



「実践起業論」での発表風景

のものです。日本人は外圧に対しては団結して対応していく本能みたいなものがありますが、内圧には不得意です。それだけに腹をすえてこの時期を乗り越えなくてはなりません。同窓会としましては

危機意識を持って大学との連携を

同窓会会長 田中富三



TOP
CONVERSATION

大学と連携し全面支援させていた
だきます。

カリキュラムをどう構築し どう特徴づけるかがポイント

渡邊 いま田中会長から危機意識の話が出ましたが、これからの経大をどうするかという問題は、あまりいい言葉ではありませんが、まさに生き残りを賭けたと申しますか、避けて通れない問題として教職員のみならず7万余の同窓生に対しても強く責任を感じているところです。話は少し逸れるかもしれませんが、これまで展開して



まいりました「21世紀を拓く」の講演会を通じて、共通して見えてきたことは、いまの日本経済を立て直すのに価格競争をしても勝てないということ。たとえば中国の件費は日本を100として上海で10とか、もっと北の方へいけば8だとか6だといわれている。そうなった時日本の生き残る道は何処にあるのか、やはり原点に返って技術立国としての日本のあり方を考えるべきだというのが、トップ経営者の共通した考えのように聞こえてきました。これは大学に関しても同じことがいえるわけで、一時国立よりも私学志向の方が強かったが、今は国立志向に戻っている。その要因は何か、やはり授業料の問題でしょう。だから我々は授業料をある程度頭に入れた政策をとっていかざるを得ないのですが、授業料の安さだけで勝負したのでは、国立大学に勝てない。わずかな助成金しかない我々は、それとしかして対抗していくか。技術立国の日本と同じように、我々のカリキュラムで勝負するしかない。これにどうやって特色をつけていくか。これがなかったらダメでしょう。我々はやはり伝統と申しますか、実学をベ이스にしたカリキュラムにどう取

り組んでいくかで決まってくるでしょう。ただ、実学が大切だからといってそれだけでは単なる専門学校になってしまう。今回のノーベル賞受賞も基礎理論でありましたし、これなくして日本の将来はないと思います。だからコストパフォーマンスに追われる企業の基礎理論の研究は大学で、逆に大学で欠けている実学の部分、応用科学の部分企業の方から頂く。双方の連携が本当の意味の産学連携であって、我々もさっしりした基礎理論をやって、企業に提供していかねばならない。理事長が3年前に就任され、社会に開かれた大学という理念を提唱され



国際交流会館
留学生のための宿泊施設のほか、ホールやミーティングルームが用意された国際交流の拠点です。



TOP
CONVERSATION

たが、それはこうした産学連携を意図しておられたと思います。付け加えていうならば、単に開かれた大学というだけではダメで、我々がやっていることが、企業社会から、地域社会から、あるいは国際社会から評価されなければならぬ。そして社会から評価される大学、教育を通じて社会に貢献する大学として、いまその真価を問われているのです。

大学は自己表現力を養う場 エンターテインメント性のある人材に

司会 たしかに人にやさしい大学、個性ある人材を育てようという大学という評価をされるようになってきました。それが偏差値や就職率に跳ね返ってこないところが残念ですね。

井阪 就職の面倒見のいい大学、企業社会に開かれた大学という評価をいただいていることはいいとして、これからの3年間は経大の経済学部に入ったらどんな資格がとれるのか、ここで4年間勉強し、社会に出たらどうなるんだということを鮮明に打ち出そうと思っています。大学は自己表現力を養う場なんです。それをできる環境を用意し、自分の特徴をどう伸ばすのか、それをサポートできる大学

にしたい。そして自己表現できるエンターテインメント性を持った学生を送り出せる大学にしたい。したがってこれからの3年間は、大学の根幹であるカリキュラムと教える内容、そのコンセプトを明確にしていきたいと思っています。

司会 そういう意味から同窓生の中にも優秀な人材が沢山おられます。そうした方々を大いに活用していただくのも得策かと思いが。

田中 学生との対話を通じて、やればできるという気持ちになってもらうことも大切ですね。

井阪 大樟税理士研究会の税理士の方々の学生への指導や、大樟教育研究会の方々の「17歳のメッセージ」に寄せていただいた支援には、頭の下がる思いをしておりますが、そうした方に教壇に立っていただき、学生に直接話をしてもらってあります。他の大学にあまり例を見ないことだと思っています。

渡邊 ともあれ社会が必要とする人材を育てて行くことができるように、カリキュラムを組み、学生の立場に立って4年間預かる。それができる大学が生き残っていく大学ではないでしょうか。

司会 貴重なご意見有難うございました。



インターンシップ
学習で身につけた理論や技術を発揮しながら実践的に理解を深めます。また、実社会で実際に働くことで生きた体験ができます。



座談会を終えて／経大のこれから

司会 広報部長 森川義一（25回卒）

80周年に向けて3カ年計画をスタートさせ、これからが本番という理事長の意気込み、これに対応して経大の原点を忘れることなく、民の力を結集した生きた実学を展開しようという学長の生き残りを賭けた取り組み、それに支援体制を惜しまない同窓会長の三位一体となったトップの姿勢は、経大の先行きに大いなる希望を感じさせられた。願わくばこのトップの思いを教

職員一人ひとりが真剣に受け止め、7万余の同窓生の期待にそむくことのないよう、危機感を持って努力してもらいたい。少子化という現実、避けて通れない問題であり、存在感のない大学は敗者のイスに座るしかない。幸いにして井阪理事長の人脈から発するパワーは、経大の社会的評価を高め、勝ち組に導こうとしている。このことを忘れないでほしい。

自前主義を掲げ、社長自らテレビ出演、急成長を遂げた通販業界の風雲児

株式会社ジャパネットたかた代表取締役社長

高田 明氏 (37)

テレビ、ラジオ、インターネット、カタログ、チラシなど多彩なメディアを駆使して、既存の通信販売のイメージを打ち破り、通販業界でめきめきと頭角を現す(株)ジャパネットたかた。創業者は、経大OBの高田明氏である。高田社長自らテレビに登場して、独特の語り口でわかりやすく商品の魅力をアピールする。

しかし、「壮大な目標を掲げるのではなく、いつも今やるべきことを一生懸命やってきただけ」と語る高田社長の口調は意外なほど穏やかで、「10年で売上高30倍の急成長を遂げた会社のトップ」という

イメージとは、ずいぶんかけ離れている。

ヨーロッパでの海外駐在が貴重な体験に

ESS (英会話クラブ) の活動に熱中したとおっしゃる大学時代。「当時ESSは文系のクラブの中で、もっとも活発に活動しているクラブの1つでした。他大学との交流キャンプや、英語劇で主役を務めたことなどが思い出に残っています」と高田社長。

昭和46年、本学卒業後は大阪の機械メーカーに入社、貿易部で仕

事を覚えて海外駐在員に。得意の英語力を生かして、デュッセルドルフを基点にヨーロッパ各地を飛びまわった。「当時は東西冷戦の真ただ中。まだ、海外に出ることが少なかつた時代に異文化にふれられたことが、たいへん貴重な経験になりました」と語る。

その後、父親の経営する有限会社たかたカメラに入社、37歳の時に独立してたかたカメラの1つの店舗として(株)たかたを設立した。最初の売上は月55万円ほど。「300万円までがんばってみよう」と、坪効率や労働効率、在庫効率、周辺の写真人口シェアなどの数字が



ら経営を考えて努力した結果、目標を達成できた時は本当にうれしかったですね」と当時を振り返る。そして、さらなる飛躍をめざしていた時に長崎放送のラジオショ



1948年長崎県生まれ。71年大阪経済大学卒業後、阪村機械製作所に入社。74年(有)たかたカメラに入社し、86年に(株)たかたとして分離独立。99年に社名変更し「(株)ジャパネットたかた」に。業績は急成長して売上高449億円(昨年実績)。

ツピングに着目。他にしゃべり手がいなかったため自らがラジオに出演して商品説明を行ったことが、通販事業に参入するそもそものきっかけとなった。

当時はビデオカメラやワープロの人气が高まりだした頃で、高田社長は扱う商品をナショナルブランドの最新型で、最も人気のある商品に絞り込んだ。

「商品を手にとって確かめることのできない通信販売だからこそ、消費者に自信を持って勧められる確かな商品でなければと考えました」。

その後テレビ通販にも進出、人気の商品を安く販売するだけでな

く、必要な付属品をセット販売したり、金利手数料を自社の負担とするなど、独自のサービスを打ち出して着実に売上高を伸ばしていった。

佐世保の自社スタジオからタイムリーに情報発信

高田社長は、「顧客満足度の重視」「メディアミックス」「自前主義」を経営戦略の3本柱に掲げる。

本社と福岡にある受注センターで全国から入る注文をカバーするほか、カスタマーサービス、テレビ・ラジオの番組、カタログ、ホ

ームページの制作から商品の発送まで、すべて他社に任せず自社内で責任を持って行う。

そのため、自社内にテレビスタジオを開設。放送局で研修を受けた自社スタッフが番組を制作、CS放送で通販チャンネル「ジャパネットスタジオ242」を1日21時間放映している。

家電製品は特に新商品の出るサイクルがめまぐるしく速いため、いかに旬の商品をタイムリーに提供できるかがポイントとなる。制作会社に依頼して番組を作ると時間がかかるが、自社のスタジオなら、朝取り扱いを決めた商品を、その日のうちにでも電波で紹介できる。

また、同社のカスタマーサービスセンターでは、商品に関する細かな知識を身につけた担当者、購入者と同じ商品を前に置いて問い合わせに対応する。商品へのこだわり、顧客への思いは、創業時から年商621億円を目標とする現在も変わらずに受け継がれている。

「安さだけでなく負けるかもしれない。しかし一番大切にしたいことは誠実さです。『たかた』で買えば安心だからという信頼で買っていただけでなく、購入された方にこれなら長く使える、役に立

つと満足していただけるような商品提案を基本にしていきたい。それから社員には『思い』や『夢』を大切にしてもらいたい。自らを信じ、会社を信じてチャレンジし続けて欲しい」と高田社長。また「組織として社員一人ひとりの持つ良さを引き出し、個性をどこまで伸ばせるかが問われている」と人材教育の重要性も指摘する。

そして、「ネットによる動画配信のほか、地上デジタル放送が始まり、今後多チャンネル化、双方向化、グローバル化が進んでいくと、たとえば佐世保からアジアの国々へ情報を発信することになるかもしれない。社員のスキルを高めて、新しい時代に対応できる仕組みを今から作っていききたいですね」と、今後の展望を語る。

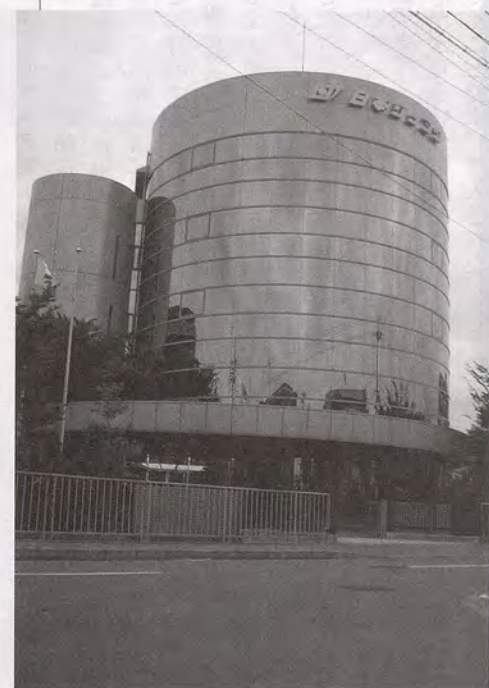
「何もないところからいきなり大きなものは作れない。やはり毎日の『積み重ね』が必要で、昨日より今日、今日より明日を良くしていこうという姿勢が大切です。自分がこうと信じたことを懸命にやっていると、自然に将来が開けてくるんです。そういう意味で『今』を大切にしたいと思っています」と、アントレプレナー(起業家)をめざす後輩たちへのメッセージでインタビューを締めくくった。



株式公開を視野に入れて コンクリート防食技術で 日本一を目指す

日本ジッコウ(株)代表取締役社長

佐藤武司氏 (30)



明石城を横目にタクシーを飛ばすと10分ほどの高台に、総ガラス張りのモダンな建物が目に飛び込んでくる。そこが日本ジッコウ(株)の本丸だ。

9月に入つてのある朝、5階の社長室の電話が鳴る。「佐藤社長、見ましたで、今朝の日本経済新聞に写真入りで出てましたな!」この不況下に株式を公開するやなんて、さすが佐藤さんや」と、興奮気味の相手の声。日本経済新聞の朝刊に「光るナンバーワン企業—日本ジッコウ—」兵庫県内中小企業で初めて日本証券業協会のグリーンシート市場に登録。株式市場に備えた管理体制も急ピッチと報じられ

た。「こりやどうも、たいしたことやおまへん。ただ、これからの中小企業は銀行だけに頼ってはいへない。自ら資金調達の多様化に備えておかねばと思ひましてね」と。このやりとりの中にも、この人らしい、しっかりと先を見据えた、そして旺盛な先取りの心意気を感じさせる。

ナンバーワンが大好き

佐藤さんが本学を卒業して実社会へ身を投じたのは39年の春。日本経済がまさに高度成長期に突入し、突っ走ろうとしていた矢先の頃。スチール家具、事務用機器で

お馴染みの岡村製作所に入社した。当時、岡村製作所に入社した新入社員は、本学卒の2名を含めて60数名いたそうだが、そんな同期生など問題ではない。3年目で全国でもトップクラスの販売実績を挙げる猛烈セールスマンに成長した。学生時代、空手部で鍛えた根性と積極性と行動力。これをフルに発揮したことはいうまでもない。「当時、堺筋の事務所の道路を隔てて斜め向かい側にライバル会社の伊藤喜工作所の本社がありました。誰もライバル会社の周辺事務所にまで手を出さずとなかったが、私はこの相手の本丸周辺こそターゲットだと事務机を売りま

くった。これにはさすがに所長も驚いてましたよ」と、当時を振り返る。

こうしてセールスマンとしての腕を磨いた佐藤さんは、縁あってコンクリート混和剤の販売会社「株式会社デンジヨウ」に転職することになる。ここでも4人の社員で経営していた会社を10年あまりでコンクリート構造物の劣化を防ぐ重防食まで手掛ける31人の会社へ成長させる。ただ、社長と意見の食い違いもあって身を引くこととなり、昭和50年資本金1000万円で現在の「日本ジッコウ」株式会社を設立、コンクリート防食被膜工法の提供・補修・改修工



昭和16年10月24日生まれ、神戸市出身、昭和39年3月大阪経済大学を卒業。同年4月(株)岡村製作所入社、(株)デンジヨウを経て昭和50年、33歳の若さで、資本金1000万円の日本ジッコウ(株)を創設、現在に至る。母校の同窓会常任理事・組織部長、団体連協副会長、空手部OB会会長など母校発展に注力。

ものは思いようで易者の言葉に耳を傾けるのも一考かもですよ」と高笑い。

現在払い込み資本金1億4590万円、従業員68名、年商34億円の企業規模を誇り、上下水道の処理槽(そう)などコンクリート構造物の腐食防止技術ではトップクラスの技術力とシェアを誇る。

同社の強みはなんといってもコンクリート構造物の劣化状況を調査、診断し、その補修施工から管理まで一貫して手掛けるところにある。ユーザーの本当に要求する仕事ができるよう、調査、診断技術と補修改修設計を担当する「エースコンサルタント株式会社」を、それに九州地域を担当する「九州ジッコウ有有限会社」といった日本ジッコウを支えるグループ企業を設立し、それぞれの特色を出し合って業績の向上に努めている。

「つまり分社化をはかることによって、それぞれの機能を磨いていく。それに加えてわが社は全国都道府県に120社の優れた施工技術を持つコンクリート防食の専門工事業者とネットワークを組み、これと防食技術の中核的役割を持

つ「防食技術研究所」が上手くかみ合って、最適の防食技術や施工ノウハウを常に提供できる仕組みを持っている。上下水道網も全国にはほぼ行き渡ったうえ、公共事業も先細り傾向にあり、この業界も樂觀を許さないが、補修改修市場はこれからが本番と見ている」と、先行きの企業経営にも自信の程をうかがわせる。

日本証券業協会が未上場企業のために開設した証券市場「グリーンシート市場」で、日本ジッコウ株は、今2250円の気配値を付けている。「当社の株主になっていただいた投資家の皆様のことを考えますと、これまででないプレッシャーを感じています」としなげながらも、これから起業を志す若い世代に向けて「自分が何をしたいのか、そのために何をすべきか、それを決めて実行すれば道はかならず開ける。この気概さえあれば仕事はいくらでもある。ちなみに当社のホームページを見てもええかわかるんですが、業種は他に類を見ない製造業となっています。他に類を見ない仕事で新しい道を切り開いてほしいですね」とエールを送る。

に関する総合エンジニアリング会社としてスタートを切ることになる。

即・実行の信念を社名に

「私は何事をするにも即・実行をモットーにしました。だから社名も迷わず日本の会社なんですから日本を頭にし、漢字ではあまりスマートでないでカタカナにしたんです」と、いたって簡単。

「創業に際して日本ジッコウという社名や私の将来を見てもらおうと、当時大阪の旭区に易者で有名な先生がおられて、私の生年月

2002年度 講座

12月10日(火)

「これからのライフスタイルと産業のあり方」
菅井 基裕 (株)阪急百貨店 代表取締役会長／
阪急電鉄(株)取締役相談役

12月16日(月)

「日本経済再生に向けて 銀行の果たすべき役割と課題」
海保 孝 (株)りそなホールディングス 会長

12月17日(火)

「ケース・スタディ:51%外資・万有製薬の経営戦略」
長坂 健二郎 万有製薬(株)代表取締役会長兼社長

1月6日(月)

「2003年の日本経済の展望」
田中 直毅 21世紀政策研究所 理事長／
経済評論家

1月7日(火)

「日本の教育問題とこれからの大学」
佐藤 禎一 日本学術振興会 理事長／
前文部事務次官

1月14日(火)

「未知への航海」
堀江 謙一 海洋冒険家

1月20日(月)

「関西再生のダイナミズム」
太田 房江 大阪府 知事

多彩なビジネスリーダー による特別講演を 学内外問わず 一般公開

一流企業の経営者、シンクタンクのエコノミスト、公的機関の専門家など、社会の最前線で活躍している方々を講師に招いての特別講義です。時代に即したタイムリーなテーマと実体験に根ざした明快な講義内容で、学内・外を問わず毎回多くの聴講生が集まります。

オープンカレッジは、本学と各界との太いパイプを基盤にしたユニークな取り組み。2002年度、創立70周年記念講演会として開催した各界112名の連続講演会の成果も加えて、今後も貴重な学びの場としてさらに充実を図っていく方針です。

オープンカレッジ

社会経験をつんだあとだからこそ より、幅広い知識を求め 人生勉強!!



吉川重雄さん
1962年(28回)卒
経済学部

古い友人から経大でオープンカレッジをやっているからいっしょに行かないかと誘われたのが受講のきっかけです。27年ぶりの母校で上新庄の景色が一変しており初日は、道に迷ってしまいました。授業は、大変興味深く2年前からほとんど毎回参加しています。もちろん現役の学生と一緒にですが、今の学生は我々の頃は想像できないような、活発な質問を講師にしてい

たのも驚きでした。これまでの講義では、トヨタ自動車の渡辺副社長の話が特に印象的でした。企業の活力の本質は人であるという理念には、感銘を受けました。人は、年がいけばいくほどより広い視野を持って、先々を考えて生きていかねばなりません。現役をリタイアした人が再び母校で人生勉強をすることは、有意義だと思います。社会人を経験したあとだからこそ、幅広い知識を得ることが、老化せず、人生を楽しむコツだと思います。今後も「何かを自分で作り上げる」という姿勢で人生にチャレンジしていきたいと思っています。



社会人のための 大学活用術

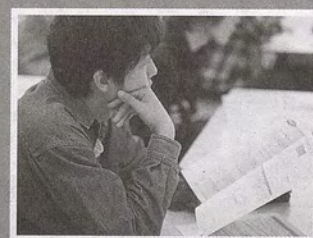
社会との結びつきを大切にする
本学では、先進的な教育・研究の
成果を広く社会に還元。社会人入
学制度や各種公開講座など、多彩
なメニューで生涯を通じた学習へ
の取り組みを支援します。



オープンカレッジ



公開講座



聴講制度



科目等履修制度



振り返ってみると 『会計』と離れる一方 もったいないという思いが生じて…

もう一度学びたい 生涯学びたい 多様化する 知的ニーズに応える

単位は認定されませんが、学ぶ内容は科目等履修生と同じです。

出願資格は高等学校卒業以上で、他大学生も聴講できます。

自由に講義を選択し、パートタイムで学びましょう。夜間の科目も対象ですから、幅広い時間帯の中から希望に合った科目が選択できます。

※本学卒業生については、検定料は免除、履修料及び聴講料は半額とする。

胡桃坂 由香里さん

1989年経営学部卒
(55回卒業)
特定医療法人 きつこう会
総合病院多根病院勤務
一般事務

私は、当時推薦で入学しました。

学部時代は、すでに取得していた日商簿記2級と全商簿記1級をもとに会計科目を中心に履修するだけで終始し、満足していました。

就職し、大学を離れ、会計と離れた生活を送る中で、それまでの自分自身を振り返った時に、せっかく努力して取得した資格が生かしきれずに忘れ去っていく

ことにもったいなさを感じ、再び学ぼうと思いました。

大学に戻ってみると、多くの驚くべきことがあります。例えば、授業内容の先生主体から学生主体のものへの変化、やる気のある学生とない学生の差の広がり、そして女子学生の増加。時の流れをつくづく痛感しました。

今という時が、先行き不透明な時代だからこそ、彼ら、彼女らと共に学び、そして、会計を通じて将来の可能性を確かめる為にも、この聴講制度を利用し、自分なりの速度で勉強に励んでいきたいと思っています。



研究者としてだけではなく 教育者としても生きていくために 教職課程を勉強中



宮武記章さん
1997年63回卒
関西学院大学大学院在学

大学院を出たあと、就職があるかどうか不透明な時代ですが、もし太学教員になれたとしたら、研究者としてのみではなく、教育者としても生きていきたいのです。教えるという観点から教職免許は、意味があると思うんです。それと実は、大学と高校のどちらの教員が向いているか模索中なんです。どちらに傾いても教職免許は、有利ですし、高大連携が始まっている点も、

科目等履修生として勉強していることに大きく影響しています。キャンパスに戻ってみると単純ですが、懐かしいの一言が感想ですね。やはり、学部時代をすごしたこのキャンパスは居心地がいいですね。今は、本業の方で課題やレポートも多いですが、学部時代は自由でしたからね。科目等履修生の日常は、レポート提出の締め切りに追われたり、苦しいこともあります。民間企業に無い学生とのふれあい、教育者という責任の重さ、教えることの楽しさや喜びを早く味わいたいためにがんばっています。

関心のある科目を 選択受講 資格取得等の 科目認定にも対応

正規学生と同じく、履修した科目について所定の試験に合格すれば単位が認定されます。修得した単位は教職免許取得や「学位授与機構」が実施する学士の学位取得に活用できます。

出願資格は高等学校卒業以上ですが、教職免許取得を目的とする場合は大学卒業以上となります。

「学位授与機構」に学位取得を申請できる基礎資格は、短期大学・高等専門学校卒業者、および大学に2年以上在学し62単位以上の修得者となっています。

※本学卒業生については、検定料は免除、履修料及び聴講料は半額とする

「開かれた大学」として、 多様なニーズに応える 多彩な講座を開設



経済・文化セミナー

大阪府立文化情報センターで毎年開催される「経済・文化セミナー」も今年で20年目。現役のビジネスマンを主な対象に、時代を先取りしたユニークな内容は、多くの方から高い評価を得ています。本年度は9・10月に「新しい経営文化の提案―現代の企業社会を説明する―」というテーマで計6回のセミナーを行いました。

市民教養講座

89年度に大阪市教育局委員会との共催で開催、以来毎年5・6月の土曜日に本学で実施しています。各分野の研究者を講師とし、地域住民の方々を対象に興味深い講座が開かれます。

高校生のためのコンピュータ講座

高校生を対象に、1日IT体験として夏休みに実施しているコンピュータ講座。講義と最新の情報処理施設を利用した実習が、密度の高い講座を実現し、短期間でのコンピュータ習得を強力にバックアップします。



Get Togethr

ともに経大で育った
親子・兄弟・夫婦を紹介

一方の喜久一さんは、兵庫県立商業高等学校（現星陵高校）時代からのサッカー少年で、先輩の勧めもあって昭和23年4月、経大に入学、同時にサッカー部に入部、今ヨーロッパで活躍している中田選手や中村選手と同じセンターハーフ（現在ではミッドフィルダーと呼ばれている）のポジションで大活躍。「入部した頃は2部リーグだったが、すぐに1部に昇格しました。40人ほどの部員と一緒にそれは厳しい練習をさせられました

サッカー部の主力選手

「折角いい会社に入れたんですが、

どうも仕事の内容がしっくりいかず、女学校時代から図書委員などをしてきた経験もあり、藤原光治郎先生のお世話で経大の図書館に再就職することになり、結婚するまでの6年間、ここでお世話になりました。図書館での仕事が始まった当時は、新制大学への鞍替えの準備で大忙しでした。蔵書の種類と冊数をそろえるのに、今までの何倍もの分量が必要で、我々だけでは困ることも多く、当時正式な就職が決まっておられなかった西尾正也さん（後の大阪市長）にお頼みして、2年ぐらいお手伝いしていただいたこともありまして」と、当時を振り返る。

「と、当時を懐かしそうに語られる。こうした先輩たちの努力の甲斐あって経大サッカー部は、その後全国に名を馳せる大躍進を遂げるわけですが、そんな喜久一さんの練習姿を図書館の窓からうっとり眺めるツルエさんの姿が見うけられるようになる。

そんな夏のある日、同じ図書館に勤める後輩の陰下さん（前同窓会会長さんの妹）と石川さんの2人からサッカー部の夏の信州合宿

に行かないかと誘われる。「サッカーというスポーツもはじめて見るようなものだし、まして合宿にといわれてもピンときませんでした。ただ、学割でいけるというので、観光旅行のつもりで行くことにしたんです」と。そして10日間ほどを信州高原で過ごすことになったが、ルンルン気分が善光寺をはじめ観光地めぐり。

業界切っつの老舗。喜久一さんは公設地方卸売市場の一角にある「天然果汁（にがり）とうふ」をつくる「野島商店」の四代目の主人になろうという人。しかも喜久一さんを頭に9人の兄弟がいて、一番下の弟は小学校3年生。それに現在では、工場内はステンレス製の自動機械が並び、とうふや油揚げを作る近代設備を備えているが、それでも夜中に起きて大豆の仕込み作業をするのがこの業界の常識。まして半世紀ほど前の作業といえどもっと重労働が要求される。「喜久一さんの両親と9人の兄弟の面倒をみて、そのうえそんな仕事に耐えられるわけがない」と、両親は大反対。



野島 喜久一 (19)

昭和28年卒
有限会社野島商店代表取締役

野島 ツルエ (14)

昭和23年卒 同取締役

夫唱婦随のおしどり夫婦

野島さんご夫妻が結婚されたのが、昭和29年1月というから再来年には金婚式を迎える。「学校の名簿でいくと私が5歳も年上ということになっていますが、実際は3つ上だけなんです」と、姉さん女房を気にされておられるようですが、いやはや、ご両人を側で見ていると、ご主人にいたれり、つくせり、世の男性諸君、女房持つなら姉さん女房にかぎると思わずいいくなるような、仲のいいおしどり夫婦。

では、このカップルがどのような経緯で結婚したのかを紐解く前に、まずは、ご両人の大学時代を振り返ってみることにしよう。

レディーファーストということ

に差し掛かった昭和20年春、大阪府立寝屋川高等学校を卒業後、担任の先生の勧めもあって、20倍もの競争率の奈良女子高等師範学校を受験。これには見事失敗したが、お隣に住んでおられたお嬢さんに経大の前身である大阪女子経済専門学校の受験を勧められ、その年の6月（戦中の混乱で2カ月も入学式がずれ込む）に入学する。

「学校に入学して一番最初にしたのは、自分の身の安全を確保するために入る防空壕掘りでした。教室には旋盤など工作機械が設置され、まさに軍需工場のようにしたね。なにせ入学式の最中に不発弾が暴発し大騒ぎになったことを覚えていますよ」とツルエさん。



新婚当日のお二人



支部だより

全国の支部会からの活動報告と支部総会のお知らせ

幸い福井では若手中心の大淀会が新しいアイデアを出して支部活動を支えており、今後とも若いフレッシュな感覚を大切にしながら、会員相互の融和を図り支部活

と話し合いました。

支部総会によせて

福井支部

多様な記念事業が展開されており、支部としても積極的な協力を申し合わせました。

学生大幅減少期のなかで、更に特色ある大学として母校のより一層の発展を願う声が多数でございました。来年度の支部総会は7月第3土曜日に高岡市で開催することを申し合わせました。多数の会員の皆さんのご出席を、お願いする次第であります。

支部長 重松 尚 (23回)

愛知支部13年度の支部総会は11月30日夜、例年通り名古屋国際ホテルで開催しました。香積理事・陰下(前)同窓会会長、水納同窓会事務局長等を迎え創立70周年記念講演について、人間科学部の新

心機一転の前進を

愛知支部

支部長 吉田 毅 (20回)

動を盛り立てていきたいと考えています。母校創立70周年の記念すべき年にあたり、支部会員ともども母校の一層の発展をお祈りします。



設、国際交流会館やNB館の建設計画等、母校の近況を拝聴、拍手を送りました。

しかし今回は出席者が諸般の都合で10余名とこれまでの最低になりました。次回は盛大にと検討中、阿部支部長の京都への転居が決まり本年6月後任支部長を引き受けることとなりました。今、責任の重大さをひしひしと感じております。阿部支部長は平成6年先輩の加藤正秋支部長から引き継ぎ8年間支部運営にご尽力していただきました。深く感謝すると共に、支部の皆様方の更なるご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

支部にも新風を

三重支部

14年度総会の開催にあたり幹事一同検討の結果、これまでのホテルから和室での開催に決め11月9日夜、木曾路栄店に決めました。前阿部支部長も参加予定です。創立70周年を祝し先輩諸兄の皆様、さらには若い方々の力を結集し心機一転支部の前進を期していきたいと思っております。重ねて支部の皆様のご支援よろしくお願いいたします。

支部長 明田安生 (25回)

継続することこそ力であり、意義があると考え、ここ10数年毎年欠かさずに総会だけは開いてきましたが、何か最近では代わり映えもせずにマンネリ化してきたよう



北海道支部設立21周年

北海道支部

北海道支部は設立21年になりました。現在の活動は、10月に支部総会を開催して、会員相互の親睦をはかっています。また、2年前より6月に会員コンペを開催して更なる親睦を図っていますが、他にも行事を計画して、より多くの会員が参加できるように良ければ良いと考えています。

地域の特性として、広大な北海道の各地に会員が分散しているために、札幌での行事に参加できる会員に限られていることが、現在の悩み

の種です。良い解決策がありましたらアドバイスをお願いします。

鶴飼泰正 (51回)



東京支部総会を大阪で

東京支部

今年度最大のイベントの内容はこの原稿ではご紹介できないのが残念ですが、来る10月26日、東京支部総会を母校で開催する予定を報告します。

毎年、支部総会に対し、幹事会で場所、内容、メイン行事の決定などを議論しますが、今年は松谷支部長の「支部総会を創立70周年



を迎えた母校での開催」との発案に全員が一致賛成し、今回の運びとなりました。

我々には卒業以来、母校を訪問する機会があまりありません。現在、大学は各種イベントを展開しており、特に「21世紀を拓く」というテーマのもと、各界トップの方々による講演会の盛況ぶりなどを聞いて発展する大学を一見し、OBとしての誇りと同窓会を通じて大学との連携、協力のあり方を

見出したいと思っております。

幹事 松澤裕一郎 (39回)

祝70周年 更に特色ある大学へ

富山支部

富山支部は本年6月に富山市にて総会を開催し会員の皆さんの交流と親睦を深めることができました。同窓会より国西良昌事務局長補佐と大学から経済学部長の山本恒人先生の来賓のご出席のもと、和やかな雰囲気のもとで学園の現状と将来についての報告を頂きました。本年は、70周年の記念すべき年であり、理事長先生を先頭に



大阪経済大学同窓会富山県支部総会



だより支部

全国の支部会からの活動報告と支部総会のお知らせ



んが多数の会葬者に見送られ大楠の地に旅立られました。
昭和24年第15期大阪経済専門学校最後の卒業生として、教職に6年、市議員28年と、教育、市政の活性化に携わられました。
母校愛も熱く、平成3年7月に39番目の池田支部が誕生したのも、

- 平成14年度 実施済み支部活動
(平成13. 10. 1 ~ 平成14. 9. 30)
- (1) 第17回通常総会
H13. 10. 13 (土)
 - (2) 鞍馬山ハイキング
H13. 11. 18 (日)
 - (3) 麻雀大会
H14. 2. 16 (土)
 - (4) 星田園地ハイキング
H14. 4. 7 (日)
 - (5) カラオケ教室
H14. 4. 13 (土)
 - (6) ゴルフコンペ
H14. 5. 22 (水)
 - (7) ボウリング大会
H14. 6. 8 (土)
 - (8) 読書会(1泊)

同好会で支部を活性化!!

豊中支部

大川先輩の情熱によるものでした。先輩は「正義」でなければマイクの前に立てないが持論で、黒正巖先生の碑にある「道理貫天地」を身をもって継承し、実践されてこられたのでしょうか。母校と池田支部の発展を願いつづけながら旅立たれた大川先輩に、心からご冥福をお祈り致します。

支部長 渡辺泰敏(21回)



- 平成15年度 支部行事予定
(平成14. 10. 1 ~ 平成15. 9. 30)
- (1) 第18回通常総会
H14. 10. 13 (日)
 - (2) 摩耶山ハイキング
H14. 11. 17 (日)
 - (3) 麻雀大会
H15. 2. 15 (土)

活性化に何を為すべきか

泉南支部

支部及び募金活動の停滞が現今の不況と関連あるとすれば、切ない気持ちになるが、同窓会は、あくまでも母校発展へのお手伝いと卒業生の親睦が目的です。昨年9月、支部役員会において、総会参加者の増員対策、募金活動の進展を前提として、いくつかの提案を行ったものの、充分な議論を尽くしていません。

支部長 三原健太郎(29回)

たとえば、職種、職域、同期、ゼミ、クラブ等の横断的名簿の作成で、利用方法は、各回理事からの文書配布による横断の呼びかけです。募金活動推進のため多くの

より多くの人々の集いを

滋賀支部

本年度の滋賀支部総会は6月1日北ビワコホテルグライツにて、本部より陰下(前) 同窓会会長、津秋同窓会副会長、大学より渡邊学長をお迎えし盛大に開催いたし



にも思われます。母校創立70周年を節目に、当支部も新しく再出発の時期と考えられます。

支部長 中尾大輔(5回)



ました。ご来賓の陰下(前) 同窓会会長より同窓会本部の運営や抱負などについてご挨拶を頂き、また渡邊学長からは大学の近況などについてお話し頂きました。
支部会員40余名の参加をいただき初めて湖北、長浜の地で開催し、近隣支部長もご出席頂き、各支部の活動状況をお聞きするなど、和やかな雰囲気のもと次会総会には100名の参加を目標とする事を

全会一致で福地新支部長に

大阪市役所支部

母校の創立70周年の佳節を迎え、全国の同窓会の皆様方とともにお祝い申し上げます。

さて、大阪市役所支部の平成13年度総会は、11月13日にヴィアー



確認し、楽しいひと時を過ごしました。支部長提案により、今回の参加者へのお土産とした滋賀県産の信楽焼き置き物は大変好評でした。

支部長 正村公一(27回)

計報く母校と支部の発展を願いつづけて

池田支部

7月27日、支部顧問の大川良さ

レ大阪にて開催いたしました。学校より佐藤総務部長、同窓会より陰下(前) 同窓会会長以下3名、石原大阪市議会議員も駆けつけてくださり、にぎやかな総会となりました。席上、角谷(前) 支部長より、定年退職による支部長交代の提案があり、全会一致で新支部長に福地利仁氏が就任いたしました。前支部長同様、ご指導、ご高配賜りますよう、お願い申し上げます。

南 正治(42回)





支部だより

全国の支部会からの活動報告と支部総会のお知らせ



3年ぶりに支部総会開催

岡山支部

平成14年4月より岡山県に津山支部が誕生いたしました。その関係で従来の岡山県支部が岡山支部に変更になり、また前支部長の村上一夫様が高齢と体調不良のため、私が支部長に就任いたしました。

今年7月13日(土)に、3年振りに岡山支部総会が開催されました。常連の方、新人の方併せて50

1年間の支部活動

和歌山支部

和歌山支部同窓会の皆様、当支部では母校70周年記念事業の募金活動を展開してきました。全国的にも今ひとつ奮いませんが、当支部も数字的に伸び悩んでいます。これから後半に入り役員一同頑張りますので、よろしくご協力をお願いいたします。

支部活動は12月に那賀地区会主催により小倉カントリーで、5月5日にも支部主催により小倉カントリーでゴルフコンペが開かれ、それぞれ30数名の参加がありました。

6月27日には、17歳からのメッセージ(第2回)の件で、高校教員の同窓生15名の出席を得て会議を行い、全面的に投稿に協力することを約束しました。

8月2日、支部幹事会において18名が出席し、今年度の総会を11月

平成14年度大経大西宮支部総会

西宮支部

16日(土)午後4時より動員100名を目標に華月殿で開催することと、70周年記念募金では1500口を目標に進めることを決定しました。募金、その他についてご意見があればよろしく願っています。

支部長 宇藤博文(28回)

昨年4月21日、都ホテルで13年度支部総会を開催し、本年度は10月5日に同じ会場で開催いたしました。本年は創立70周年事業の進捗状況やその成果を同窓会支部会員に大学側からお話を頂くことと親睦を兼ねて開催することとしましたが、毎回総会の開催に頭を痛めていることが、西宮・宝塚・芦屋の会員1400名で、出席を頂くのが30名程度、この様なことで良いのかと疑問に思うことです。

昨今、君が代斉唱や国旗掲揚に異論を唱え、愛国心に欠けることを嘆くと共に、母校に誇りを持たないOBがいることも世間の風潮なのか、母校はますます発展を遂げて立派になっていくのに残念で仕方ありません。

副支部長 金子 赫(24回)

年月の経過は絆をも弱める

神戸支部

平成13年度の支部方針は、本学創立70周年記念事業成功に向けた基金集約活動に終始しました。秋に開催する「支部総会」を最大の山場に、支部独自の口座を開設してカンパ活動を行いました。しかし、甚だ残念ながら寄付は思うに任せず、同窓会事務局から預かった予算を大幅に下回る結果に終わりました。

卒業後の年月がいつの間にか大学との関わりを薄れさせ、学生時代の絆が切れている事実を万感の思いで噛みしめました。各地で開催される支部総会を見ても少数固定化の傾向が強く、何かこのあたりで抜本的な同窓会改革が必要ではないかと改めて痛感いたしました。

鳥越武一(31回)

和気あいあいと盛り上がった懇親会

明石支部

平成14年9月14日、毎年恒例の明石支部総会を「ホテルキャッスルプラザ」で開催しました。本年は40数名の参加があり、大学からは4名のご出席をいただきました。

懇親会では、全員参加のゲームで盛り上がり、和気あいあいとした時間を過ごしました。最後に学歌、道徳歌を熱唱して、来年度の総会での再会を祝して散会しました。

来年も多くの参加を期待しております。

吉本明浩(41回)



大任を終えて

岡山支部

名位の出席者でした。大学より里上學長補佐、同窓会本部より水納同窓会事務局局長の二人が参加して下さいました。岡山県は黒正先生の地でもあり卒業生も約1600名を超える多い県ですが、最近の傾向として学校を出たら後はそれっきりという人が多く、1年に1度の同窓会にも出席がままならないようです。

支部長 小野 隆(35回)

津山支部設立総会報告

津山支部

本年8月30日に田中同窓会長、水納同窓会事務局局長、香積大学常務理事のご来賓を始め、岡山支部より小野支部長、寺尾副支部長にもご出席いただき、盛会裏に設立総会を終えることができました。

今回67期の笹原さんが初参加、役員一同感激しております。設立総会を契機として大学の発展と支部の組織充実とを目指して更に頑張ります。今後、本部と連携しながら在学生の支援について勉強してみたいと思っております。

来年の8月は、粉川さんのハワ



声高らかに学歌斉唱

広島支部

平成14年7月6日、母校より渡邊学長をはじめ教職員の方々9名、本部より国西事務局局長補佐のご出席を頂き、広島支部24名の出席により記念すべき第60回支部総会が

イアンバンドのアトラクションを予約、楽しい総会を考えておりますので多くの方の参加をお願いします。

支部長 竹本 巧(37回)



支部だより

全国の支部会からの活動報告と支部総会のお知らせ

活動報告

大分支部

この1年間は、同窓生を調査して情報を集めてまいりました。その結果名簿に載っていない人も数名見つかりました。今後の活動としましては、11月にやっと同窓会が開催できるのではと思っております。なかなか日程が合わずに1年経ってしまいました。今一度同窓生の皆さんの顔が見られると期待しております。その時はご協力のほどよろしくお願いいたします。

支部長 寒田 陽 (40回)

大学の現状をご報告賜りました。福岡、佐賀、長崎県在住の同窓生で構成します北九州支部にとりましては、懐かしく感じた次第です。さらに当日は滋賀支部長正村様、熊本支部長濱様にご出席いただき、激励と温かいおことばを頂戴いたしました。昨年同様、河野副支部長率いるバンド演奏も好評で、最後には学歌、逍遙歌を同窓生全員で声高らかに歌いました。

来年も同窓会を開催する予定ですので、まだご参加されていない北九州支部在住の皆様のご参加をお待ちいたしております。

支部長 植田達二 (52回)

同窓会支部長一覧

支部名	氏名	卒回	現住所	電話	E-mailアドレス
北海	田中 喜三郎	10			
☆東海	松谷 嘉隆	22			
☆富山	重松 尚	23			
石川	柚木 繁	21			
福井	吉田 和夫	20			
岐阜	磯田 郷一郎	29			
☆愛知	明田 安生	26			
三河	中尾 大輔	5			
☆滋賀	正村 公一	27			
京都	南 和男	35			
大阪	太田 一澄	17			
○大阪府役所	福地 利仁	39			
○北摂	石川 裕	28			
☆豊中	三原 健太郎	29			
池田	渡辺 泰敏	21			
☆泉州	朝倉 進平	25			
○西宮	小谷 芳男	24			
☆神戶	進木 伸次郎	33			
○丹波	木村 正人	24			
☆播磨	廣野 義直	34			
○姫路	佐藤 武司	30			
☆淡路	永井 宏	19			
○和歌山	森口 鐵章	32			
☆鳥取	宝川 雅嗣	23			
○島根	西本 集一	23			
☆岡山	宇藤 博文	28			
○津浦	西山 林一	35			
☆備前	浅原 宏	22			
○広島	小野 隆	35			
☆徳島	竹本 巧	37			
○香川	小池 勝章	32			
☆愛媛	佐々木 一義	9			
○高知	小林 真人	32			
☆北九州	田中 良昌	26			
○福岡	岡野 敦	31			
☆佐賀	小野 茂樹	26			
○長崎	野崎 邦男	32			
☆熊本	植田 達	52			
○大分	寒田 陽	40			
☆宮崎	濱 忍	35			
○鹿児島	伊 彰	23			

○…全国支部長会代表幹事 ○…副幹事 ☆…同幹事

支部だより



同窓会名簿発行

徳島支部

同窓会徳島支部は2月「支部会員名簿」を発刊しました。平成4年11月に初めて発刊しましたが、その後の会員動向を再調査し改訂版として発刊しました。66回卒業までの360人を収録しております。同窓会有志の広告出稿によって印刷代はすべてまかさないました。残金は支部活動の資金にしました。

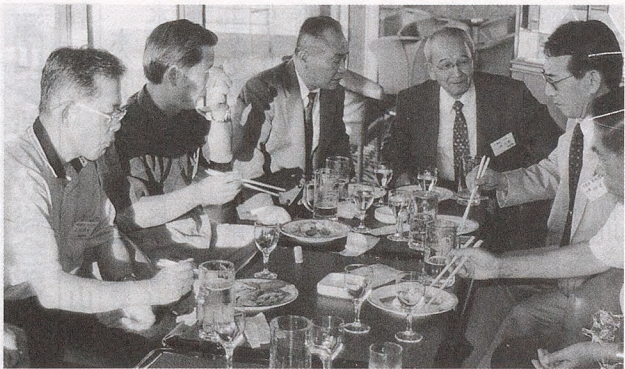
36回卒業の松尾泰久氏が6月24日社団法人徳島新聞社の社員総会で理事に昇格いたしました。松尾氏は在学中、硬式野球部の捕手として活躍。卒業と同時に徳島新聞社に入社し広告、販売畑を歩み、販売局長に昇任。さらに新しく理事の理事は社長・専務を含めて4人しかおりません。

支部長 田中良昌 (26回)

今、支部総会団結のとき！

愛媛支部

7月7日、国西・神田両氏を迎えて、リーガロイヤルホテル新居浜を会場に17名が集い、和気藹々のもと支部総会が開かれました。小野支部長のお骨折りで多く



同窓諸氏、少しの勇気と気力で次回はお顔をお出しく下さい。

監査 真鍋一美 (32回)

副支部長率いるバンド演奏も好評

北九州支部

北九州支部同窓会を平成14年2月23日開催いたしました。同窓会本部から白井副会長殿、福田副会長殿、大学から本多入試委員長殿にご出席いただき、同窓会および



の方に参加して頂こうと施設・料理・会費に気を配って頂いたおかげで、リッチな気分での総会となりました。

新役員再選の承認、学園の近況報告、自己紹介等いつものながらの賑やかな展開となりました。支部あげての寄付への協力、新学部・施設等への期待、新旧交えての話に花が咲きました。今後の活動としては支部会員名簿の改訂、親しみのある同窓会の名称等の意見も出され次回の再会を約束して散会しました。

この場をお借りして、県内在住



今年催されたOB会の紹介です。
来年はあなたも参加してみては。

同期の桜は永遠に!!

九友会

今年も本当に素晴らしい同期会でした。平成14年4月14日(日)午後3時広島駅に集合し、安芸の宮島に赴き、大鳥居をバックにして記念撮影。宿泊先のホテル錦水館で本当に楽しい一夜を過ごしました。同期生11名、同伴ご夫人5名、陰下(前)同窓会長、計17名の参加でしたが健康の許す限り、同期の方1名でも多く参加して、会を盛り立てていきたいと望む次第です。尚来年度は岡山で開催幹事を洪野栄一君にお願いしバトン



日本三景 安芸の宮島

タッチいたしましたのでご報告申し上げます。

私事で申しわけありませんが目標は100歳までで、続けるだけ続ける所存でございます。取り越し苦労等心配事もなく感謝!!感謝の気持ちで一杯です。大経大70周年万歳!!

佐々木一義(9回)

入学60年、思い出話に活気づく

第11期生会

平成14年度の第11期生会は、7月6日お馴染みの梅田「ラ・ク



(出席者) 井上、伊東、岩谷、加藤(旧西瀬)、桑津、伊達、谷、北条

ル」においてご来賓の大槻名誉教授、香積常務理事、及び福元同窓会副会長ご臨席で開催しました。

当日は気温35度を超える蒸し暑い日であったにも拘わらず12名の参加がありました。私達は昭和17年4月、昭和高校に入学して、今年でちょうど60年になります。幸い保管していた「昭和23年卒業後最初の会合案内状」及び「昭和34年発行の第11期生会会報第1号」を回覧したところ、青春時代の先生や同期生の懐かしい思い出話に活気が溢れ、時の経過を早く感じました。健康法の一つと考え、次の会合に奮ってご出席をお願いします。

再会を楽しみ、旧交を深めた2日間

第16・18回同期会



この会を立ち上げてすでに10年以上の歳月が流れた。毎年5月連休明け直後の日・月曜日を定例日として会場はその都度変えている。本年は5月12・13日、紺碧の瀬戸内海と雄大なパールブリッジ(明石海峡大橋)が眺望できるシーサイドホテル、舞子ビラ神戸で開催。参加者13名。歓談・マージャン・ゴルフなどで1年ぶりの再会を楽しみ、旧交を深めた。

村田、吉岡、割木、筒井

筒井英夫(11回)

当初、20名を超えていた参加者も、年々微減傾向を辿り15名前後

がやつの状況である。物故された方、加齢とともに1泊には不安を持つ方もでてきたのかも……。

今後は運営の方法を検討して(1泊・日帰りの併用など)1人でも多くの人が参加できるように仕組みを考えなければと思っている。

酒井克己(16・18回)

23期生の集い

23期生会

今年も18回目の集いが、陰下(前)同窓会長と水納事務局長をお迎えして、経大同窓会ホールで開かれました。参加者は22名、初参加1名、会長より70周年を迎えるの同窓会について、事務局長より同窓会の近況についてお話がありました。次に宴会の中で各自の現況を話してもらいましたが、卒業後45年を経ると健康維持の話が多くなるようになりました。

年1度の同期会で楽しい1日を過ごすことは、健康にも最良だと思います。また今後の開催日について皆で検討した結果、2月の第3日曜日、来年の2月16日となりました。

70周年記念館も立派に出来まし

税理士大樟会・定期総会報告

税理士大樟会



長谷川宗平(28回)
平成7年東大で税理士
成務院・開業
平阪退理士に至る

新会長に長谷川宗平氏就任

第11回定期総会が7月9日「新



た。母校も見違えるほどです。欠席者の便りには来年こそはの返事が多いですが、ぜひ思い切ってお席してください。お待ちしております。

酒井弘光(23回)



阪急ホテル」で開催されました。総会に先立ち母校講師・鯉田勝巳先生による「最近の商法改正と職業会計人のあり方」と題する講演があり、引き続き総会に入り諸議案すべて異議なく承認されました。

その中で特筆すべきことは昨年10月1日に大学において、三木泰(35回)がコーディネーターを務め、パネリスト市原幸恵(42回)倉田収(44回)の各税理士に現役学生、氏原知郷・下地円君の参加を得て「君も税理士・公認会計士になろう」と題する公開シンポジウムを開催し、在校生の将来の進路に大きなインパクトを与えることができました。このように大学創立70周年記念行事に参画できたことは前会長・福元輝雄氏以下役員の皆様方の周到な計画が実ったものと

2月20日に総会開催

川西市役所大樟会

本会は兵庫県川西市役所に関係する仲間が同窓会グループとして昭和48年に発足しました。会員数も30余名となっています。

本年は2月20日に定例総会を開催しました。同窓会より陰下(前)同窓会長様と白井副会長様をお迎えして大学の近況等をご報告いただくとともに、会員相互の親睦を深めて大変な盛りあがりを見せました。さて、本市では新たな時代を迎え、市民と行政のパートナーシップをより一層深め、対話と共感、笑顔輝くヒューマン・ネットワーク



ハンドボール部連続優勝!

ハンドボール部は関西学生1部春季リーグにて、昨秋に続き優勝しました。創部以来7度目、昭和63年から平成元年秋までの3連覇に次ぐ快挙であります。スターで天理大学に不覚を取り、前途が危ぶまれましたがよく立ち直り、最終戦で6戦全勝の大体大との直接対決を制することが出来ました。平成14年7月7日、同窓会ホールで祝賀会が開催され、大学から井阪理事長・里上学長補佐、同窓

ハンドボール部OB会

で旧交を深めつつ大いに盛り上がりました。現役の西日本学生拳法選手権をビデオで観戦、現役学生の若さに我々も当時に戻り士気を高められた気がします。参加者は80名と40周年式典より減少しましたが若手OBも参加し50周年への良い準備段階となりました。監督を務める私と同期の元学生拳法連盟委員長の沼田氏とが中心になりOB会の事務局をさせて頂いており、今後も50周年に向け我が部の発展へ尽力致します。末筆ながら同窓会の皆様の発展を祈念し近況報告の結びとさせて頂きます。

山本隆造 (37回)

奇多郎会大原の里に集う

奇多郎会 (柔道部OB会)

昨年11月25日、26日の両日、同志社大学柔道部OBの山本さんが経営する民宿「大原の里」に1年ぶりに元気な顔が集まる。平家物語の建礼門院ゆかりの寂光院の門前にあるこの民宿で、紅葉の美しい庭を眺め、名物の大きな五右衛門風呂に入り、鍋をつつきながら昔の懐かしい思い出話に夜の更けるのも忘れて語り合う。

代表 鮫島 圭 (18回)

会長 岩崎清隆 (26回)

会から田中新会長、関西学生ハンドボール連盟から前田会長(24回)、体連協・後援会・父母会・体育会本部の関係者にOB会メンバーが加わり、磯野元同窓会会長に乾杯の音頭を取って頂きました。またアトラクションでは、住本OB夫人すみこさんに季節にあわしいハワイアンソングを唄って頂き、和気藹々のうちに更なる発展を誓い合いました。

今後は関西での優勝継続と、全日本学生選手権初優勝を目指して努力して参ります。同窓会諸兄姉ならびに関係者の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

経柔会3位に終わる

経柔会 (柔道部OB会)

第11回関西学生柔道連盟OB親睦ゴルフ大会が、8月26日に兵庫県の千刈カンツリークラブで行われた。今大会は関西学院大学が当

吉田文雄 (24回)

上野允也 (24回)

萩原先輩を偲ぶ会開催

柔道部OB会

去る8月18日(日)新神戸オリエンタルホテルに於いて、萩原先輩(元柔道部監督・元同窓会会長)の一周忌に際し偲ぶ会を開催しました。

当日はご遺族の方及びご来賓の方々を含め総勢97名が出席しました。萩原先輩の遺影に黙禱し、献花を捧げた後、内田副会長の司会で、吉川実行委員長の開会宣言があり会が始まりました。吉田会長より偲ぶ会の趣旨について、また出席者に対するお礼の挨拶の後、

吉田文雄 (24回)

優勝 関学大 441

2位 天理大 449

3位 大経大 456

大経大は内田79、小林80、下垣94、佐々99、三木104という結果。来年は同志社大学が当番幹事と決定した。

吉田文雄 (24回)

人との縁を大切にやる気満々

日立大樟会は田中富三氏(18回卒元日立金属副社長)を筆頭に65回卒のOBに至る日立金属グループの会員32名で構成し、東京大阪他全国の第一線で活躍をしています。

メンバーは各々「田中イズム」(人一倍の努力と人との縁を大切に

日立大樟会

ク・シティの実現に努めています。お近くに来られる際は、是非お立ち寄りください。

最後になりましたが、大阪経済大学及び同窓会の益々の発展を祈念しております。

住家幸三 (45回)



岡山県黒樟会を発足して

岡山県黒樟会

去る7月6日今年度の大経大O



育み、自分の持てる能力をフルに發揮して、やる気満々で実践する。それに人間関係も併せて大事にすること」を根底に共有しており、結束は実に固く密接です。近況では、まず就職関連の継続入社を目指しており、インターンシップでも日立として関西地区で現役学生を受け入れています。また好評の



B教職員会を持ち、正式に岡山県黒樟会を発足しました。岡山県の大経大OB教職員の集まりはすでに40年近く継続してもたれており、現在その会員数は45名となっております。今回組織、会則を定め正式な黒樟会の発足となりました。

当日は大学より香積弘晟先生と志水利通先生にご出席いただき、大学の現状をお話ししていただきました。今後とも我々会員は年1回の会を持ち、全会員が気楽に集まりいろいろな情報交換ができ、元気の出る場になるよう頑張っていきたいと考えております。

岡田晃治 (35回)



日本拳法部創部45周年記念式典

日本拳法部OB会大樟会

平成14年2月24日(日)同窓会の陰下(前)同窓会長、水納事務局長にご臨席頂き、創部45周年記念式典が行われました。岡本会長の挨拶に続き津秋名誉会長より70周年記念事業への募金が陰下(前)同窓会長に渡され開宴、里上部長の力強い激励で終宴するまで、皆



萩原先輩を偲ぶ会



ご来賓の入江先生、西岡師範、同窓会事務局長の水納様より、萩原先輩を偲んで思い出等を交えてのご挨拶がありました。この後、柏井相談役により献杯の音頭と挨拶があつて会食となりました。

会場には上野氏（24回）の提供による萩原先輩との思い出の写真集のほか、同窓会誌「澱江」や萩原先輩の遺品等が展示されており、これらを見ながら会食。この間に児玉監督、海老名OB、小林OB、松浦OBからそれぞれお世話になった思い出の話があり、会を盛り上げあつたという間に時間が過ぎてしまいました。この後、中田副会長の指揮により、追悼歌献上。学歌・逍遙歌・柔道部遠征歌を唱和しました。

ご遺族を代表して萩原印刷株の小西社長（萩原先輩の奥様の弟）から天国の萩原もこのような偲ぶ会を行つてもらつて喜んでいるだろうとのご挨拶にOB一同目頭を熱くしました。最後に逸見副会長が閉会の挨拶を行い大学の応援歌・選手送歌のながれるなか、ご遺族及びご来賓の方々をお見送りして終了しました。

会長 吉田文雄（24回）

創部50周年式典を開催

硬式庭球部OB会



風薫る5月、母校の同窓会ホールで、平成14年度OB総会を開き、田淵公孝OB会長（54年卒）の監

督就任にともなう後任会長に森川英雄氏（36年卒）副会長に中山健氏（38年卒）山本恵一氏（58年卒）会計幹事に桂秀紀氏（60年卒）、事務局長に仁川勇氏（61年卒）を選任、奥本敏雄前監督の総監督就任を決めた。

総会終了後、現役部員も含めて60名を超える参加者のもと、創部50周年記念パーティーに移り、まず奥本敏雄初代OB会会長の「顧みれば、関西学生リーグのベスト8で大活躍した時代や運動具店の借金に追われ連盟費さえ支払えなかったという苦難の時代もありました。今日こうして創部50周年を迎えられたことをみんなで喜びたい」との挨拶のあと、木谷万澄氏の乾杯の音頭で力強く杯を挙げた。

森川英雄（27回）

体育会連絡協議会について

体育会連絡協議会

同窓生の皆さん、いかがお過ごしですか。平成13年の澱江にも記載しましたが、「体育会連絡協議会」（略称体連協）についてご紹介いたします。

井阪理事長が就任後、大学の知名度向上の方策の一つとして、運動部の強化が打ち出されました。

体連協はその方針を全面的にサポートしようと、平成13年2月に同窓会本部内に結成されました。その目的・組織・活動は左記の会則抜粋の通りであります。

（目的）

体連協は大経大各運動部が飛躍し得る環境を作り、その活躍により大学活性化の起爆剤となり、大経大の知名度向上に寄与することを目的とする。

（組織）

体連協は大経大各運動部のOB会会長並びに監督又はあらかじめ指名された者をもって組織する。

（活動）

1. 体連協は第3条の目的を達成するため、下記の活動を行い、大経大事務局と緊密な連絡をとり協議する。

- 1 入学関係…推薦制度（人数・時期）等のあり方・改正
 - 2 設備関係…練習場所・使用方法等の改善
 - 3 費用関係…強化費の改善並びに使途の明確化等
 - 4 その他、目的達成に必要な活動
2. 体連協の活動年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
- （役員一覧）
会長

我が春秋の演劇部

劇研OB会

2001年12月、久潤の劇研OB会を開く。13期から20期まで、20名が新阪急ビル12Fのラ・クルに集う。山崎、門山、桃井、小西、岡田、平田、坂本、本田、松本、岡田、酒井、中谷、陰下、田中、箕形、伊藤、中村、応田、長谷、と水納事務局長。

「スピーチは時の流れを取り戻し」たちまち往年のマドンナ、愛しきメッセンジャー達の艶やかさ。男と女の再会の舞台となった。事実



は「人生の台本ごとくなく曲がり……」

余りの感慨に二幕目を岡山和気の温泉で再演開催の運びとなり、内田がこの幕に登場。青春を謳歌すること深夜まで。「青春の顔浮かんでる湯煙に」翌朝は露天風呂。「演劇部我が生涯の友得たり」また逢わむ、長生きをして朋友よ。

中村行男（16回）

日経新聞 鶴田社長と共に

春秋会

70周年記念講演会「21世紀の日本を拓く」の第2週目の4月15日に、日本経済新聞社鶴田社長のお話を春秋会員（上場企業の役員を

九一会京都貴船「川床料理」を堪能

九一会（中村九一 郎せ三OB会）

九一会では、暑気払いも兼ねて、京都でも減多に出かけることのない貴船川の「川床料理」を楽しむ会を丁度、梅雨も明けた平成14年7月20日（土）の海の日、九一 郎先生の奥様を含めて14名の参加



のもと「貴船ふじや」で開催しました。

叡山電車の出町柳に午前11時に集合して、貴船で下車し、貴船神社に参拝をした後、一風呂浴びて全員浴衣に着替えて、溪流の声を聞きながら贅沢な一時を九一 郎先生の遺影と先生が生前、大好物であった神戸の洋菓子のお供えのもとで「川床料理」を堪能して過ごしました。また、この貴船の川床遊びは、情緒に富んだ京都の夏の風物詩として有名であり、九一 郎先生もこよなく愛されておりました。九一会の旧交を深め、先生の思い出話で盛り上がり、最後にわざわざ九一会のためにご出席いただいた大阪経済大学同窓会事務局



の国西先輩よりご挨拶をいただき
終了いたしました。出席者には九
一郎先生を偲んでお土産としてお
供えの洋菓子をお送りしました。

九一会は、中村九一郎ゼミOB
を中心に、先生を恩師と仰ぐ方々
を交えた、夫婦で気軽に参加でき
る愉快な同窓会です。いまだ、ご
参加いただいていない同窓生の
方々も是非ご参加ください。九一
会事務局までご連絡いただければ
幸いです。

九一会事務局

〒663・8154

西宮市浜甲子園

4・1・24・1419

中村恵信(40回)

携帯090・4270・9361

高城寛名誉教授の同門会 「高翔会」発足

高翔会

まず初めに「今春から高城先生
は大阪経済大学名誉教授になられ
ました」というおめでたいご報告
をさせていただきます。そして、
それに先立ちまして平成14年3月
17日新大阪ワシントンホテルブラ
ザ「紅梅の間」においてそのすば
らしいゴールデンをお祝いすると
ともに同門会「高翔会」の立ち上



げを行いました。お陰様で1997
年・2001年卒業までのOB
B/OG41名が集うことができ、
同窓会・大学から陰下(前)同窓
会会長・水納事務局長・波根総務
部次長のご出席もいただき盛大な
スタートとなりました。

高城先生のゼミの卒業生はこの
30年余りの間に1309人にも上
つています。出席者の年齢構成も
親子ほどの幅があり高城先生の長
年にわたるご尽力の一端がうかが
える思いでした。多くの方々の出
席を得て当日は貴重なお話、懐か
しい仲間との思い出話、いまだか
らこそ公表できる話等々が交わさ

れ大変盛り上がりしました。さらに
高城先生の美声まで聞かせていた
だくことができ、とてもすばらし
い1日でした。

今回都合でご欠席された方々と
は次回是非一緒したいと思いま
すので、よろしくお願い申し上げ
ます。

なお、高城ゼミ卒業生の名簿を
できる限り整備したいと思ってお
りますので、OB/OGの方々と
「激江」の届いていない方をご存知
の場合はその方の住所等をお知ら
せください。

大谷(51回)・高森(55回)

井上清先生84歳・ ご結婚60年祝賀会を開催

清書会

2002年2月10日、阪急タ
ミナルビルの「ル・シェル」で久
しぶりに清書会の総会を兼ねて、
井上先生の祝賀会を開催しました。
教え子たち60人が出席して、先生
の84歳とご結婚60周年をお祝いし
ました。

この日は、井上先生から記念講
義として「20世紀後半の日本経済」
と題して、約30分にわたり、井上
ゼミの最終講義がありました。
先生は84歳を迎えられたのに、



豊饒として、この50年間の日本経
済を振り返りながら、また、大学
教授としての50年間をかみしめな
がら、講義をされました。

終わって、パーティーに移り、
久方ぶりの会合で懐かしく和気あ
いあいのうちに話が弾んでいまし
た。隣の部屋に準備された2次会
でも遅くまで残り話題につきない
ようでした。

連絡先

〒553・0005

大阪府福島区野田5・2・8

酒井亮介(15回)

06・6462・5979

大阪経済大学 経営情報学部

西山 豊教授

ブーメランは世界に平和を もたらすか？

誌上面白ゼミナール

受験のための勉強と違って、学問
研究とは本来面白いものであるとよく
言われる。そこで、面白く学問
している先生にご登場いただき
て、大いに学問の魅力や楽し
さを語っていただくこ
とにした。

運命の出会い 駄菓子屋のブーメラン

小さい時から親を困らせる子ど
もでした。理屈こねなんです。何
かが気になると、とことん納得す
る答を得られるまで親を捕まえて
離さない。あまりのうるささに閉
口した母親に、庭の柿の木に縛ら
れたり、蔵に閉じ込められたりし
たこともあるほどです。

初めてブーメランと出合ったの
は10歳の時。近所の駄菓子屋で購
入して、期待にわくわくしながら
投げてみたものの、何度繰り返し
ても戻ってこなくて悔しい思いを
しました。

子どもの頃はシュバイツァーに
憧れたり、医者やジャーナリスト
など夢はいろいろあったんですが、

「ブーメランがなぜ戻るのか」
と問われて、即座に答えられる人
はそう多くないと思う。「一見遊
びのレベルを超えていないかのよ
うに見えるが、ブーメランの中に
は科学的な真理がたくさん含まれ
ている」と西山先生。身のまわり
にあるちよつと思議なこと、そ
んなこと考えてもみなかったこと
が、りっぱな学問になるという
「生活の中の数理」についてうか
がった。



ブーメランのほか、電子体温計や5の謎など研究成果をまとめた著書も多数。

ブーメランのほかに、電子体温計や5の謎など研究成果をまとめた著書も多数。ブーメランのほか、電子体温計や5の謎など研究成果をまとめた著書も多数。

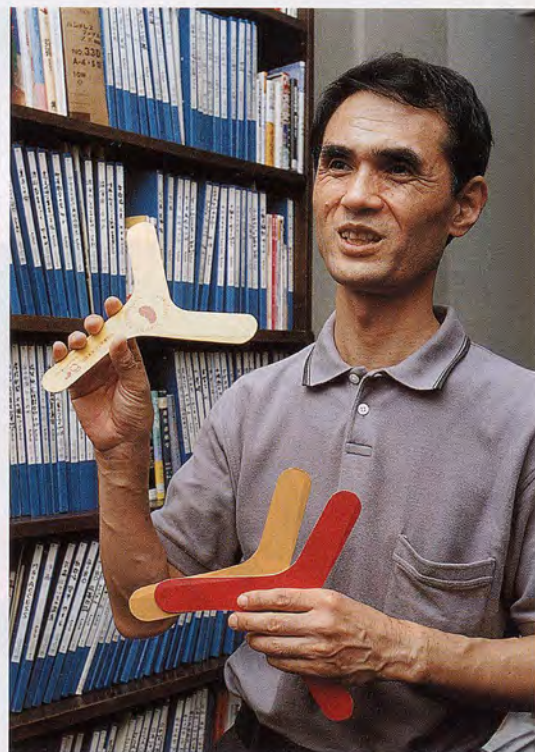
ブーメラン伝導で世界に平和を

3年前に大経大の国際交流委員として、韓国と中国の大学との交換協定を結んだ時、会議の後で紙製ブーメランを披露すると、急に和やかな雰囲気になって会話が弾み、ブーメラン外交は思わぬ効果を奏しました。

暴力の連鎖を断ち切るためには、政治ではなく文化が必要なんです。文化やスポーツなどを介すると、人間同士の自然な会話がでる、これがテロや戦争をなくす一つの手段になると思っています。

ブーメランがなぜ戻ってくるのか、この不思議を伝えることで、世界中の人々と感動を分かち合えるはずなんです。

ブーメランのほか、電子体温計や5の謎など研究成果をまとめた著書も多数。ブーメランのほか、電子体温計や5の謎など研究成果をまとめた著書も多数。



歴代のゼミ生は、総じて何に対しても前向きで、よく頑張るタイプが多い。ゼミの卒業生の中には、IBMに就職した者やブーメランのプレーヤーになった人もいます。漫才コンビ・アメリカザリガニで活躍している柳原哲也君も印象に残っている学生の一人。

80カ国語翻訳計画



西山先生は今、ブーメランの投げ方や、戻ってくる仕組みをやさしく説明したペーパーを世界各国の言語に訳す作業に取り組んでいる。現在翻訳が終わっているのはアラビア語やヒンディー語などを含む18言語。目標は80カ国語だ。

そして、「完成したら1冊にまとめて、パイプルのようにこれを携えて、南極と北極以外の紙と鉛筆とハサミのあるすべての国にブーメランを伝えたい」と西山先生。

さらに、ブーメランの解説書の翻訳に取りかかっていると、今度は言語というものがぜんぜん興味が湧いてきたそうで、言語の進化論もこれから取り組みたいテーマの1つであるという。

ブーメランについてのお問い合わせは
西山先生のe-mailアドレス nishiyama@osaka-ue.ac.jp
関西ブーメラネットワーク (KBN)
http://www.nona.dti.ne.jp/~kbn/

「医者になるには金がかかる」「ジャーナリストは生活が不規則」と言われて、結局数学者の道を選びました。

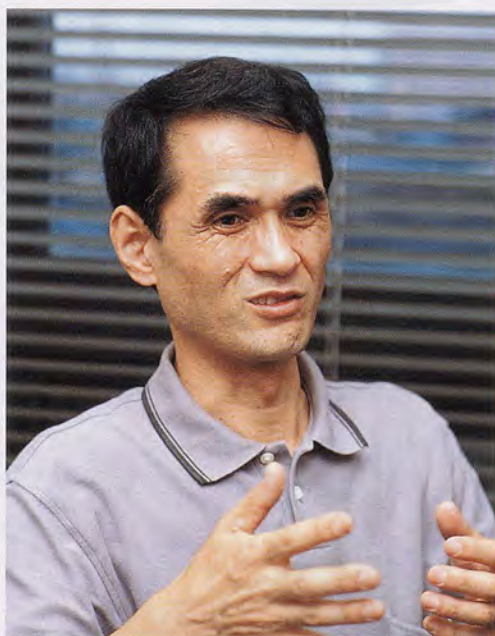
大学時代は数式ばかりやってました。おかげで分類や推論など科学的思考法はかなり訓練されたと思いますが、次第に数学そのものから、数学を取り巻くモノやコトに関心を持つようになって。「扇風機はなぜ逆さまわって見えるのか」「卵はなぜ卵形をしているのか」とかね。

身のまわりには不思議なことが実にたくさんあって、こういう疑問を手帳に書き留めては、その理由をあれこれと考えるのが楽しみになりました。

ある時、ブラインドの光量調節の仕組みを考えようと、百科事典を調べていたらブーメランの項目が目が止まりました。子どもの頃の思い出がよぎり、あの時ブーメランはなぜ戻ってこなかったのか、ほんとうに戻らんのだろうかという疑問で頭がいっぱいになって、ブラインドのことはどうでもよくなつたんです。

TOKIOと巨大ブーメラン投げ

昭和53年4月、私のノートに「ブーメランはなぜ戻ってくるのか」という研究テーマが追加されました。



笑いを真剣に調査、研究する「日本笑い学会」の会員でもある。新米教員の頃、大阪の大学では講義にも笑いやウケが必要と考えて、講義ノートに「ここでジョークを言う」と書いたりしていた。綿密な計画ではあったが、笑いが成功したためしはなかった。

人と花びらとヒトデの関係

あらゆるものに対する興味は、今も衰えることがないですね。興味の対象となるテーマは一つではなく、つねに複数あります。百科事典、広辞苑、おもちゃ売り場、百貨コーナー……テーマ探しの場所には困りません。百貨コーナーで兵馬俑のミニチュアを見つけて喜んだり……家族に言わせると相当変わってらっしゃいます。

自然界に存在する5の謎というのが、ブーメランに続く研究テーマなんです。これも海水浴に行った時に、子どもがカシパンという星形の模様のついたウニの仲間

14年勤めたIBMを退職して大経大へ。幸い、大学では自由に研究できる時間を見つけることができます。この研究室に来てからは、淀川の河川敷へ行って、正しく元の位置に戻ってくるように投げて、キャッチする練習もしました。ブーメランには戻ってくるものと戻ってこないものがあり、横投げではなく縦に投げるのが正しい投げ方ですが、それも初めはわかりませんでした。

原理が同じはずだという思い込みがあったため、なぜ戻るかをきちんと論理的に説明するまで、かなりの試行錯誤を繰り返すことになりました。

僕がテレビ、ラジオなどのマスコミによく取り上げられるのは、変わったことをやってみるからなんです。興味だけで終わらずにちゃんと学問的裏付けがあるからでしょうね。日本テレビの「ザ!鉄腕!DASH!!」では、TOKIOの長瀬智也に巨大ブーメランの投げ方を指導したこともあります。TOKIOが何者かということとはまったく知らなかったんですけどね。

トイレからパチンコ台まで

僕のゼミは「生活の中の数理」がテーマです。前期はブーメランと数学パズル、後期はゼミ生各自が生活の中からテーマを見つけて調査し発表します。テーマは実にさまざま。能楽や花火、トイレ、

毛髪、過去のゼミ生が選んだテーマと同じでなければ、自然科学、人文社会科学を問わない。もう何でもアリです。

「パチンコの釘の基本的な考え方」という卒論を書いた学生がいます。彼は釘師の学校まで行って、パチンコ台と道具をゼミ室に持ち込んで発表してくれました。

学問はすべて疑問や好奇心から出発すると言われます。最近はいんターネットで簡単に情報検索できるようなりましたが、見て、聞いて、考えて、作ってみて、自然や社会を理解することが大切です。よく「それが数学ですか」「ユニークなゼミですが、経済や経営にどう結びつくのですか」と質問されます。

経済学にどう関係あるかと言われると、あえて無関係なんです。でも、これをやっておくと調べる手法が身につく、一つの訓練なんです。あとあと役立つ。経済学、経営学に生かすことができます。

変なことやってるので誤解されたり、なかなか理解してもらえないことは確かですが、興味や関心を制限して、のびのびと真理を追求したいという心に縛足を履かせようなどとはしたくないと思っています。



3つの時代の生徒手帳
右が昭和30年度の大阪経済大学のもの。真ん中は昭和商時代のもの。左は昭和40年度の大阪経済大学のもの。



昭和商時代の皆勤賞の表彰状
当時の校長黒正蔵氏の名前が入っている。



文化祭や大学祭などのパンフレット
4冊とも経大時代のもだが、1965年のジャズバンドのサンゲイホールでのコンサートのパンフレットなどもあり、それぞれの時代の空気があふれている。



昭和30年代初めごろの大阪経済大学の学生帽
当時はパンカラが流行で、ボマードと靴墨を塗って、わざとコテコテに汚してかぶるのがやりだった。



昭和10年代ごろの昭和商時代の校長・黒正蔵氏の直筆の扇子

70年の思い出 モノ語り

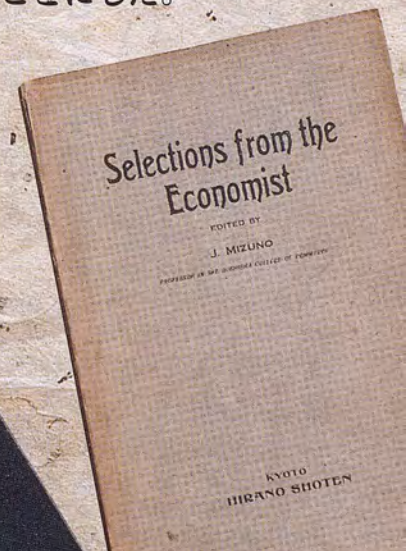
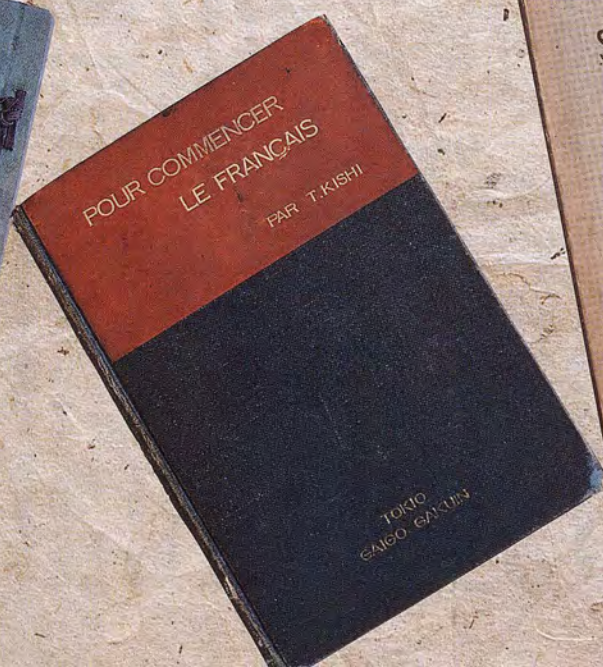
思い出の品は、時にことばよりリアルに時代を現し、雄弁に語りかけてくるもの。
経大70年の歴史を物語る、懐かしい品々を集めてみることにした。



文化系クラブの会誌や部報
戦前の映画全盛時代の映画クラブのものなど、いずれも手づくり感覚にあふれている。



昭和23年頃の教職員の方の寄せ書き集
大北文次郎氏を筆頭に、多くの教授陣が寄せ書きをしている。煎茶家元の田中清氏の墨絵なども入っている。



昭和6～8年ごろの浪華高商時代の教科書
当時は英語やフランス語のテキストが使われており、英語のテキストの奥付には「昭和8年第3刷 定価 金八拾銭」と書かれている。

本部だより

同窓会総会の開催日 変更のお知らせ

同窓会総会の開催日は、これまで11月3日と定め、実施してまいりましたが、学校のオリエンテーションの開催日と日が重なるうえに、連休と重なり日程的にも参加しにくいとの声が高まってまいりました。
そこで平成15年度から開催日を11月の第2日曜日とすることになりました。ご承知おきいただき、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

瀬江賞創設について
同窓会では年間を通じて活躍し、経大の名を世間に広めた功績のあった体育会系、文化会系のクラブもしくは個人に対して「瀬江賞」を贈り表彰する制度を設けることになり、その表彰規定をつくることになりました。
平成15年度から実施することになっており、部活を通じて活力ある学生の生まれることを期待しております。

平成13年度収支決算書 自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日

(単位:円)

収入の部					支出の部				
科	目	決	算	額	予	算	額	予	算
前期繰越金		14,212,696		14,212,696	総会費	5,465,902		7,000,000	
会費収入		64,012,000		64,000,000	役員会費	1,359,375		3,000,000	
総会収入		779,000		800,000	支部費	8,097,357		8,500,000	
利息収入		86,228		100,000	事務局費	635,884		1,000,000	
瀬江収入		498,480		1,000,000	事件費	7,535,660		7,800,000	
名簿収入		172,110		300,000	旅費交通費	3,436,760		4,500,000	
雑収入		365,000		0	瀬江発行費	16,296,406		17,000,000	
					名簿調査費	2,286,619		4,000,000	
					学対費	2,688,535		6,000,000	
					諸会助成費	1,392,019		1,500,000	
					慶弔費	539,026		500,000	
					70周年記念事業対策費	2,670,427		5,000,000	
					名簿発行積立金	4,002,082		4,000,000	
					スポーツ・学術振興積立金	2,502,479		2,500,000	
					特別基金積立金	7,000,000		7,000,000	
					予備費	0		1,112,696	
					次期繰越金	14,216,983		0	
合	計	80,125,514		80,412,696	合	計	80,125,514	80,412,696	

平成14年度収支予算表 自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日

(単位:円)

収入の部					支出の部				
科	目	予	算	額	科	目	予	算	額
前期繰越金		14,216,983			総会費		7,000,000		
会費収入		60,000,000			役員会費		3,000,000		
総会収入		800,000			支部費		8,500,000		
利息収入		50,000			事務局費		1,000,000		
瀬江収入		500,000			事件費		7,800,000		
名簿収入		200,000			旅費交通費		4,500,000		
					瀬江発行費		17,000,000		
					名簿調査費		4,000,000		
					学対費		6,000,000		
					諸会助成費		1,500,000		
					慶弔費		500,000		
					70周年記念事業対策費		10,000,000		
					予備費		4,966,983		
合	計	75,766,983			合	計	75,766,983		

KEIDAIモノ語り 思い出アルバム



太平洋戦争末期、ほとんどの男子学生の招集に伴い、昭和19年に設置された「大阪女子経済専門学校」時代の貴重な写真。写真の裏には「一年生の歓迎会の後」と書かれている。大阪女子経専は昭和21年には男女共学の「大阪経済専門学校」に変わった。

大阪経済大学昇格記念祭の写真アルバム
昭和25年のもの。この記念祭では、ハワイアンバンド、演劇部による「有島武郎」原作の戯曲の上演など、バラエティ豊かなプログラムが組まれている。このアルバムの寄贈者も、写真の横に「恍惚の一瞬」などの感想を書きこんでいて、当時の学生たちの熱気が伝わってくる。

大阪経済大学昇格記念祭
於朝日会館 昭和二十四年六月二十二日



内山君(左側二人身)
松田君(左側三人目)



昭和商高時代の射撃班の写真
上と左の2枚は、おそらく戦時中の射撃の訓練風景だと思われる。当時の学生たちの生々しい姿に胸が痛くなる。



上の写真には「昭和商高射撃班 壮行会」とある。学徒動員で戦地に招集される時の壮行会の記念写真だと思われる。カジテキ(七輪)が並んでいるのが、あの時代を彷彿とさせる。



同窓会の新媒体のお知らせ

同窓会ホームページが誕生！



アンケートにもご協力ください。

同窓会では会運営をより「層」で、開かれたものにするため、情報伝達の迅速化、多様化を推進することになり、新たに「同窓会ホームページ」の作成と、広報紙「同窓会だより」を発行することになりました。

これまで、年一回発行されていた同窓会誌「澱江」が唯一の情報伝達手段でありましたが、同窓会活動をより身近なものとして活用していただくためにも「同窓会がいま何をしているのか」を知っていただき、参加してもらおうというねらいから、HPの作成に踏み切り、「同窓会だより」と合わせて小さな情報でも会員の皆様にお届けしようということになりました。

「同窓会だより」は、当面学校当局が年三回発行している「KEE-DAI DAYS」に便乗する形でスタートしますが、HPは<http://www.osaka-ue-denken.com>をクリックしていただくか、大学のHP(<http://www.osaka-u.ac.jp>)からご覧いただけます。ご活用いただき、ご意見、ご感想をお待ちしております。

HPアドレス <http://www.osaka-ue-denken.com>

事務局だより

『澱江』購読料のお願い

「自らの購読料で『澱江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料について、お陰さまで深い御理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

編集者一同は、このご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です)

創立70周年「記念募金のお願い」

昭和7年創立以来、同窓会の皆様のご支援のもと発展してまいりました大阪経済大学は、今年9月30日創立70周年記念式典を無事終えることができました。

この伝統を背景に更なる飛躍をはかるため、中期3ヵ年計画を作成し、国際交流会館の竣工について平成15年春にはNB館の完成、さらにはC館のリニューアル工事などハード面の充実を推進すると共に、オープンカレッジ、インターンシップの拡充、高校生からのメッセージ募集、フリーマーケットやIT講習会の開催など、人間的実学をコンセプトに企業・地域・国際社会に開かれた大学を目指して取り組んでおります。

募金実行委員会では、これら諸事業を遂行させるため平成17年4月30日まで引き続き募金活動を展開中でございます。

同窓会各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(お問い合わせ先)
大阪経済大学 総務課周年事務室 ☎06-6328-2431

本部役員一覧

2002.11.1現在

氏名	役職	卒回
田中 富三	会長	18
津秋 靖博	副会長	29
福元 輝雄	副会長	37
陰下 嘉典	常任相談役	16
水納 敏也	事務局長	25
國西 良昌	事務局長補佐	29
小谷 芳男	総務部部長	24
角本 喜八郎	総務部	27
神田 博	総務部	30
高塚 邦夫	総務部	41
森川 義一	広報部部長	25
福地 利仁	広報部	39
山内 淳子	広報部	47
藤原 広太郎	広報部	54
福元 輝雄	財務部部長	37
梶村 貞男	財務部	37
市原 幸恵	財務部	42
佐藤 武司	組織部部長	30
太田 一澄	組織部	17
朝倉 進平	組織部	25
宇藤 博文	組織部	28
福田 耕	監事	16
植村 祐三	監事	32
大西 健介	監事	35
磯野 齊	相談役	3
南部 俊一	顧問	9
桑津 昇	顧問	11

学 歌

作詞 秋本吉郎
(元本学教授)
作曲 柴田南雄
(元東京芸術大学教授)

1.
大淀の 水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原 緑が沁みる
この若さ
希望は明るい 蒼穹かけて
永遠の青春 みなぎる学園
大阪 大阪経済大学

2.
大樟の 蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が 幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた 融和の象徴
繁れ自由の 花さく学園
大阪 大阪経済大学

学園歌

作詞 黒正巖
(昭和高商初代校長)
作曲 水野康孝
(元本学教授)

1.
商都の東北^{でんこう}澱江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の広野原

2.
一千余年の其の昔
大隅^{たうと}の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標

3.
黒煙天をひた^{おほ}蔽い
船車どよもす八^{はちまた}衡を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

逍遙歌

作詞 中村行男
(16回卒)
作曲 松川圭一
(15回卒)

1.
此処 城北に迎えたる
紺碧^{こんぺき}淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝^ゆきし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.
水や濁れる人の世に
真理^{まこと}求めて遊ぶ子の
友愛^{くおん}久遠に変わるまじ
汝^なが悲しみに我は泣き
吾^わが喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春^{はる}を

3.
踏めば^{おぐさ}小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命^{まなびや}新たな此の曲に
花咲く^{いのち}野山^{のやま}花の下^{もと}
声美しく歌うかな